コロナ禍に立ち向かい、克服して
甲南スポーツの更なる発展を目指しましょう

甲南摂津会名誉会長　水野　正人

令和３年２月

「徳を崇め、身体を鍛え、知を磨く」甲南学園創立者、平生釟三郎先生の建学の精神で甲南学園は進化・発展し、一昨年記念すべき 100 周年を祝いました。

甲南大学体育会運動部 OB・OG 会連合会である甲南摂津会は甲南スポーツを強化するのみならず大学スポーツに勤しむ学生の社会での活躍に向けてリーダーシップや人間力を身に付ける活動もしています。

大学間の競争が激化する中、ここ 10 年で甲南ブランドは確実に高まりました。そしてこの度、理事長に就任された長坂悦敬前学長は甲南の進化を率先して進めて頂き、中井伊都子学長とタッグを組んで更なる甲南ブランド向上に力を尽くされて居られる事に敬意を評し感謝を申し上げます。

体育会本部を中心に全運動部の自主的な強化活動、松田秀夫会長率いる甲南摂津会の役員、関係者の多大な尽力と甲南スポーツ強化支援室のご協力を得て各運動部のレベルは確実に上がりつつあります。

その発展途上、2020 年春に新型コロナウイルスの世界中での蔓延によりスポーツ界は元より、私たちの価値観、生き様に大きな変化と困難をもたらしました。世界中が協力しあい感染防止を行い、ワクチンにより世界的災害のコロナ禍を収束させ、速やかに以前の活気に満ちた社会を取り戻さねばなりません。

そこに至るまで甲南摂津会の皆さんにはこの指導者ハンドブックをもとに活動再開に向けて力を蓄え準備をして良きスタートが切れるように期待をしています。

スポーツは３Ｆで象徴されます。フェアープレー、ファイティングスピリット、フレンドシップはより良き生涯の為のキーワードでもあります。ルールを守り秩序を保つフェアープレー、どの様な困難にも立ち向かう精神、そして社会の中で協力し合う協調性を持つことです。

甲南学園、甲南スポーツの発展を心から祈念します。